

茨城県中学校新人体育大会 県南地区大会

サ ッ カ ー 競 技

- 1 期 日** 令和7年10月7日(火)・8日(水)・予備日9日(木)
- 2 会 場** 流通経済大学F F (10月7日) セキショウチャレンジスタジアム (10月7日)
常総運動公園 (10月8日) 新治運動公園 (予備日10月8日、9日)
- 3 種 目** サッカー
- 4 出場制限** 茨城県県南中学校体育連盟の学校または、地域スポーツ団体等に在学、在籍し、(公財)日本サッカー協会に加盟し、当該競技要項により、県南中学校体育大会の参加資格を得たものとする。参加生徒は、(公財)日本サッカー協会登録をしたチームでのみ参加することができる。女子加盟チーム選手に限り、在籍中学校の生徒であれば、移籍を行うことなく、参加することができる。

5 競技上の規定及び方法

- (1) 当該年度(公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則」に準ずる。
- (2) 交代に関しては、1日目は競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から7名までの交代が認められ、1度退いた競技者も再び出場することができる。交代回数は、7回までの延べ回数とする。脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは以下の通りとする。
- ① 脳震盪を受傷またはその疑いがある場合は、監督が責任者として最終判断し「脳震盪による交代」を行うことができる。
- ② 本項に基づく選手の交代は、交代人数及び交代回数に含まれない。ただし、人数は1名に限るものとする。
- ③ チームが「脳震盪による交代」を行った場合、相手チームは1人の「追加の交代要員」を使うことができ、1回の「追加の交代」の機会を得る。この追加の交代回数は、「追加の交代要員」のためにのみ使うことができ、「通常の交代要員」には使うことができない。
- 2日目は、登録した最大7名の交代要員の中から交代が認められ、1度退いた競技者も再び出場することができる。交代回数の制限は設けない。
- (3) 試合球は5号球とし、競技規則第2条に適合するものとする。
- (4) 大会において退場を命じられた選手及び退席を命じられた役員は、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。追加的処分については、(公財)茨城県サッカー協会懲罰基準に準拠して(公財)茨城県サッカー協会第3種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、(公財)茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会が決定する。主催の試合で消化できる。違反行為の内容によっては、大会の規律委員会でそれ以後の処置について決定する。本大会中に罰則が決定されながら、本大会の終了によって残存した出場停止処分については、県中学校新人体育大会で適用される。上位大会に進出しない場合は、順次次の公式戦で適用される。
- (5) 本大会で累積された警告が2回となった場合、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。ただし、違反行為の内容によっては、追加的処分を(公財)茨城県サッカー協会懲罰基準に準拠して(公財)茨城県サッカー協会第3種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、(公財)茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会が決定する。累積された警告での出場停止処分及び警告の累積は本大会終了時をもって効力を失う。
- (6) 同一試合で2回警告による退場を命じられた選手は、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。ただし、出場停止により処分されたものとし2回の警告は累積されない。本大会の終了によって残存した出場停止処分については、県中学校新人体育大会で適用される。上位大会に進出しない場合は、順次次の公式戦で適用される。
- (7) テクニカルエリアを設け、監督・コーチのいずれか1名がその範囲内で指示することができる。
- (8) 競技は、トーナメント方式で試合を行う。
- (9) 上位3チームは、県中学校新人体育大会に出場できる。
- (10) 1・2回戦の試合時間は、50分(25-5-25)とし、準決勝・3位決定戦・決勝の試合時間は60分(30-10-30)とする。
- 勝敗の決しない場合、延長は行わず、PK方式により決定する。
- (11) 部活動指導員は、本大会の競技役員を兼ねることができる。

6 申し合わせ事項

- (1) 緊急指定病院
- | | |
|----------|------------------------------|
| 龍ヶ崎済生会病院 | 龍ヶ崎市中里1-1 (0297-63-7111) |
| いちばら病院 | つくば市大曾根3681 (029-864-0303) |
| 総合守谷第一病院 | 守谷市松前台1-17 (0297-45-5111) |
| 土浦協同病院 | 土浦市おおつ野4丁目1-1 (029-830-3711) |
- (2) 落雷対策について
- 雷雨が発生した場合は、自校バスまたは、各会場の控室等へ避難する。

7 競技上の留意事項

- (1) 登録メンバーの変更
 - ・ 選手・引率・監督変更届を各校の試合1日目のマッチコーディネーションミーティング時に提出する。(原本1部・コピー1部)
- (2) ユニフォーム
 - ・ 原則としてユニフォーム規程に従う。99番までの番号を可とする。
 - ・ 審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得る正副(GKを含む)2組のユニフォームを用意し(ショーツやストッキングは黒でも可)、背中、前面に番号を付け(ショーツにもつけることが望ましい)、前面にチーム名を必ず表示する。お守り、アクセサリ、チタン等の使用は禁止とする。
- (3) マッチコーディネーションミーティング
 - ・ 試合開始70分前に、会場担当、両チーム監督、主審によるマッチコーディネーションミーティングを本部にて行う。試合用メンバー表3部、正副ユニホーム(GKを含む)を持ち寄る。
- (4) ベンチ位置
 - ・ トーナメント表を参考にして、本部から見て左右に分かれる。
- (5) ハーフタイムのアップ
 - ・ 登録メンバー用紙に記載された者(監督、引率責任者、コーチ1名、選手18名の21名)がピッチに入ることができる。
- (6) ベンチ入り
 - ・ 登録メンバー用紙に記載された者(監督、引率責任者、コーチ1名、選手18名の21名)がベンチ入りできる。ただし、合同チーム(2校)に関しては、両校の管理職を記入し、スタッフを4名にすることができる。
 - ※ 外部指導者はIDカードを首から提げて携帯する。外部指導者ベンチ入り規程に従う。
 - ・ 上記以外の生徒については指定の応援スペースで応援する。
 - ※ ハーフタイムにのみ飲み物を運びに来る程度の補助員は可とする。
- (7) 試合前の整列、ボールの使用
 - ・ 先発メンバーは、試合開始5分前に本部テント前に整列する。写真撮影がある場合は7分前とする。
 - ・ 状況に応じて、直前のボール使用を可とする。ただし、試合の進行を優先する。
- (8) 試合中の控え選手のアップ
 - ・ タッチライン沿いのスペースを使用する。
 - ・ 副審の邪魔にならないように、ボールは使用せずにビブスを着用して行う。
- (9) 交代
 - ・ 選手の交代を行う場合は、交代用紙を使用する。記入に不備がある場合は交代を認めない。
- (10) 飲水タイム
 - ・ 天候(気温、湿度)により競技中に飲水タイムを設ける。
 - ・ 容器はスクイズボトル等、やわらかい材質の物だけでなく水筒も可とする。
 - ・ タオル、スポンジ、氷等の使用可否は天候により、MCMで伝える。
 - ・ 飲水時の戦術的な指示を認めるが、選手の休憩を優先する。
 - ・ 天候状況によりクーリングブレイクを設ける。
- (11) 中断した試合の再開方法
 - ・ 雷雨等で試合が中断した場合は、協議の上、試合を中断した時間からの再開とする。その日に試合が行えない場合も、中断した時間からの再開とする。
- (12) マナーアップ
 - ・ 出場チームは会場準備や片付け、施設周辺のごみ拾いを積極的に行う。
 - ・ 中学生としてふさわしい姿(フェアプレー、あいさつ等)で過ごす。